

観光振興に向けた 海釣り公園建設の提言書

2015年4月
広島経済同友会
観光振興委員会

はじめに

近年、広島県は「おいしい！広島県」「泣ける！広島県」というユニークかつ印象的なキャッチコピーを活用したPRを行い話題となり、様々な方面から注目を集めています。

その一方で、広島県は“通過型観光地”であると揶揄されることも多く、長期滞在の目的となる観光資源の不足が課題でもあります。
しかし観光資源がないのではなく、県民自身も気づいていない魅力ある場はたくさんあるはずです。その一つが瀬戸内海であると我々は考えます。

可能性を秘めた場を、観光地として積極的に発信していくには、まず地元での定着と盛り上がりが重要となります。**そこでこの度、瀬戸内の海にまず県民自身が触れることができる場をつくる活動の一環として「海釣り公園の建設」を提言させていただきます。**

瀬戸内海の魅力をまずは県民自身が再発見するための場所づくりをすることで、地元が一体となり盛り上がり、その広がりが県外まで波及し、将来的には新たな観光資源の創出につながることを強く希望いたします。

目次

1. 広島の観光事情
2. 海釣り公園の実態調査
3. 海釣り公園の期待効果
4. 候補地および施設概要案



1. 広島の観光事情

2. 海釣り公園の実態調査

3. 海釣り公園の期待効果

4. 候補地および施設概要案

広島県の経済力と観光消費の規模

	指標	広島県	全国シェア	順位
12年度	人口	285万人	2.24%	12位
11年度	総生産	12兆円	2.22%	12位
09年度	総事業所数	15万事業所	2.33%	11位
11年度	県民所得(1人あたり)	303万円	—	7位
11年度	製造品出荷額	8兆7千億円	3.10%	10位

経済力を示す各指標は全国10位前後

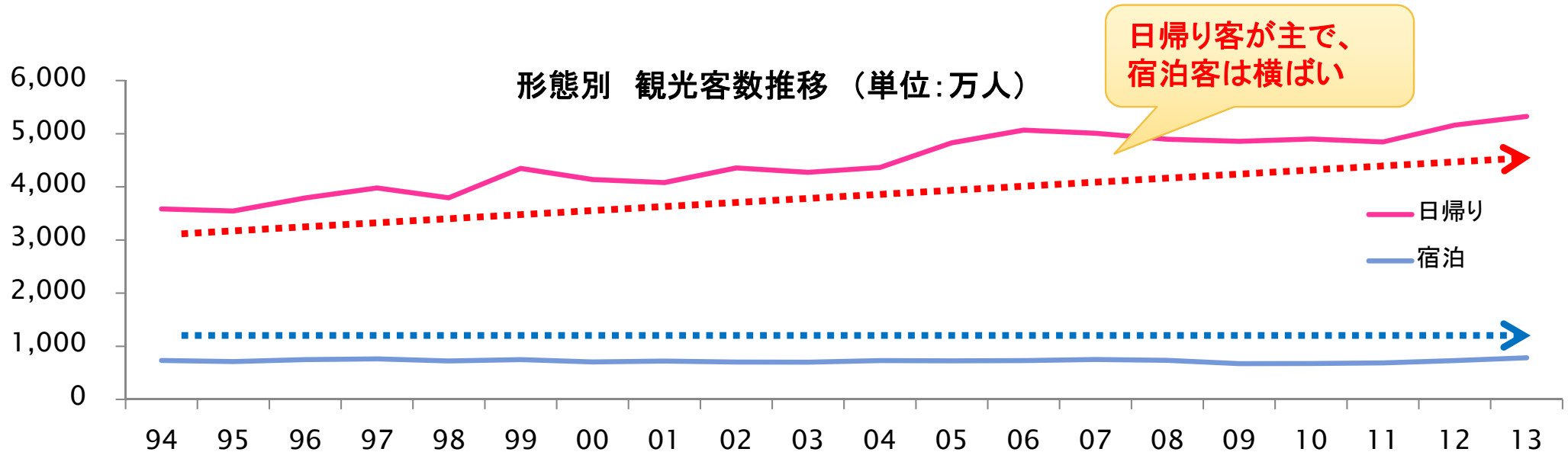
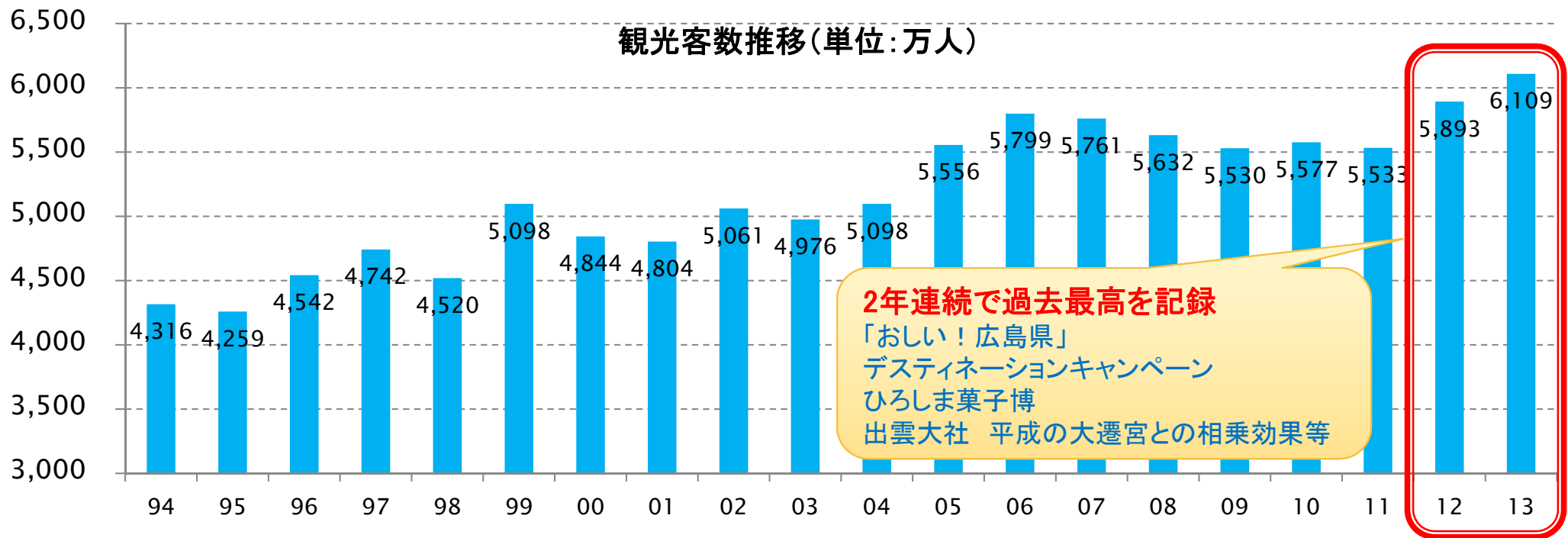
12年度	観光消費額	2,152億円	1.3 %	(22位*)
09年度	宿泊率	12.2%	—	

宿泊率は全国平均で約20%に対し12%台と低く、
宿泊費及び宿泊に伴う飲食費等が広島で使用されていない

参照：広島県『広島観光客数の動向』、日本観光協会「全国観光動向」、観光庁『旅行・観光消費動向調査』、
内閣府「県民経済計算」、経済産業省「商業動態統計」、総務省人口統計等

※県内観光消費額順位は、『共通基準による全国観光入込客統計』の2012年値を掲載。調査未完了の県を除き、22位/42県

広島県の観光消費額と形態別観光客数の推移



広島のもつブランド力 ～地域ブランド戦略サーベイ2013より～

広島県の総合ブランド力はどうなのか？

地域ブランド戦略サーベイ: 株式会社日経リサーチによる全国の地域ブランド(地域名・名産品)の「実力」や「実像」を、ブランド力や認知度、魅力点など様々な観点から分析、評価する調査。

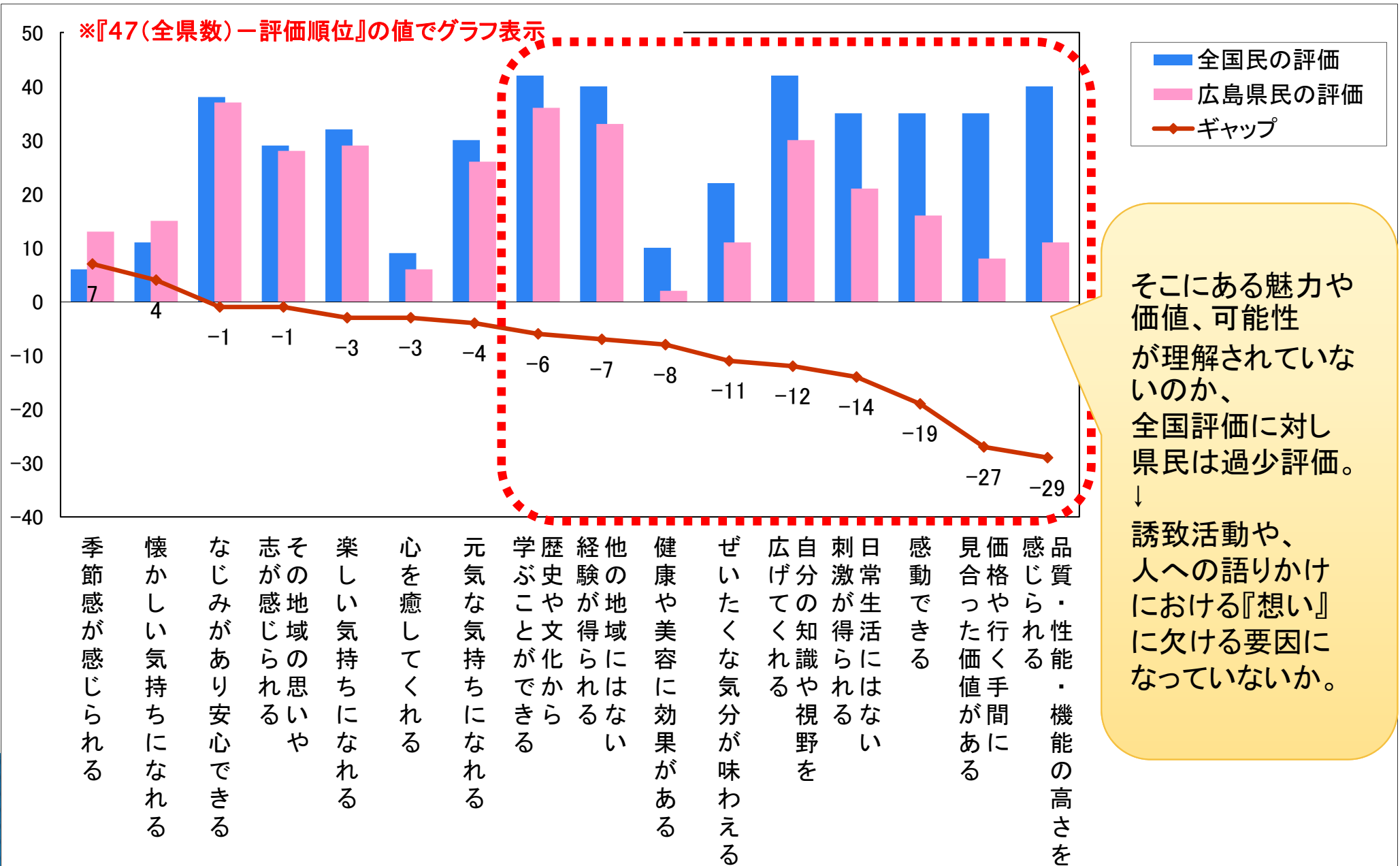
13年順位	地域名	10年 順位比較	10年 順位	08年 順位	06年 順位
1	北海道	→	1	1	1
2	京都府	→	2	2	2
3	沖縄県	→	3	3	3
4	東京都	→	4	4	5
5	大阪府	↑ 1Up	6	5	4
6	神奈川県	↓ 1Down	5	7	6
7	鹿児島県	↑ 3Up	10	8	9
8	福岡県	↓ 1Down	7	9	8
9	兵庫県	↓ 1Down	8	6	7
10	奈良県	↑ 2Up	12	11	10
12	広島県	↓ 1Down	11	16	11

広島ブランドの実態

～地域ブランド戦略サーベイ2010

(詳細データ)より～

●広島県ブランドから得られる・期待される経験価値



広島観光が抱える根本課題

課題

通過型観光となっしまい、
宿泊・飲食での消費が少ない



取り組み①

広島の魅力を自覚し
県内から盛り上がり



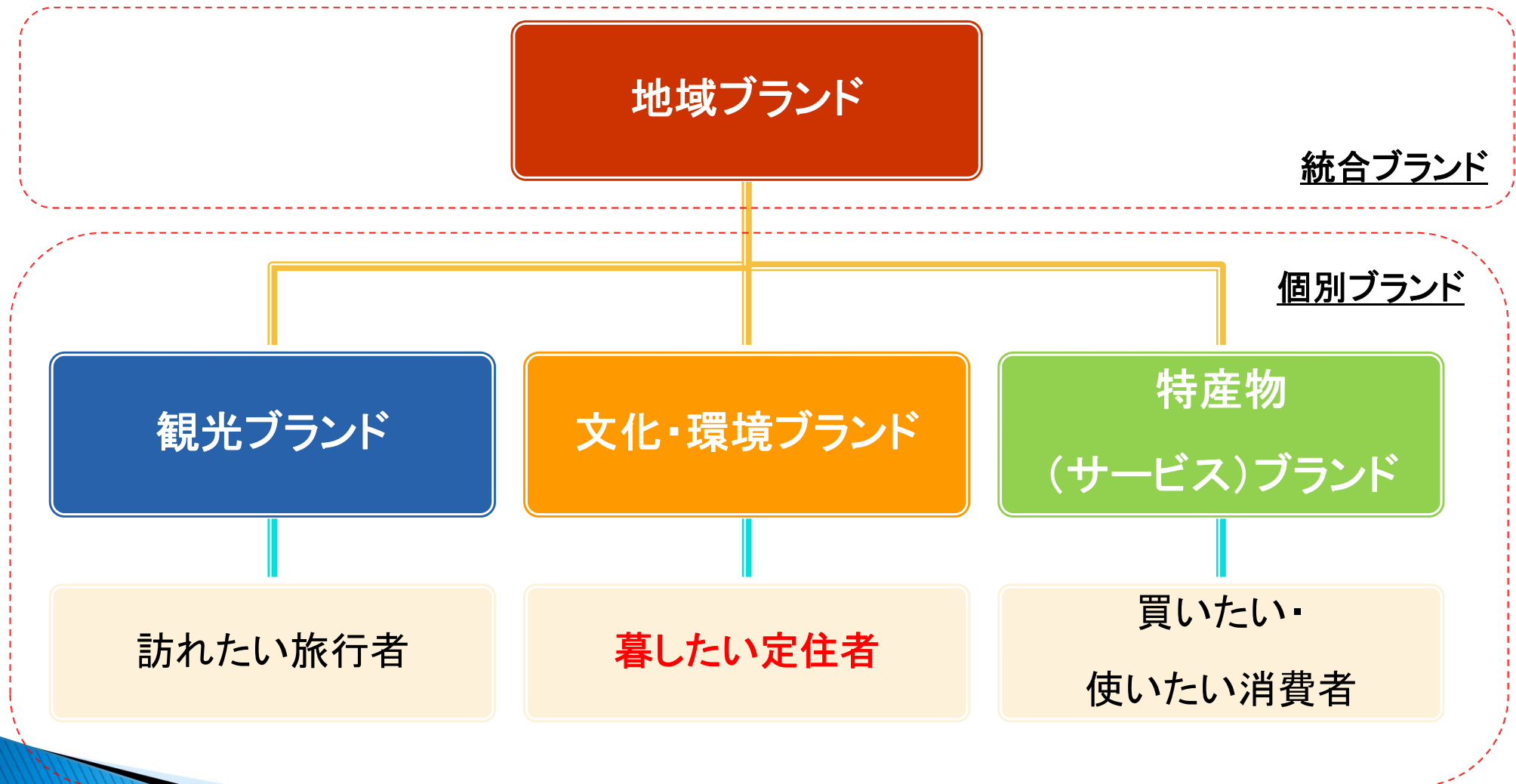
取り組み②

滞在を延長し、宿泊を
生み出す観光資源の発掘

地域ブランドの発展モデル

●地域ブランドの体系

参考)
地域ブランドと魅力あるまちづくり(佐々木一成 著)
経済産業省知的財産戦略本部資料



盛り上がりを見せる瀬戸内海の観光活用例

文化

体験型
修学旅行など
瀬戸内に
触れる企画



広島商工会議所
HPより
画像参照

観光

他県との連携
による博覧会

しまのわ
ポスターより
画像参照



観光



サイクリングロード
としての高評価

広島県HPより
画像参照

特産

牡蠣、穴子、タコ...



瀬戸内海の観光活用を
地元からさらに推進

瀬戸内海



環境



外国人観光客にも人気の
絶景の多島美

県民も含めて身近に海の素晴らしさにふれられる施設
海釣り公園

1. 広島の観光事情

2. 海釣り公園の実態調査

3. 海釣り公園の期待効果

4. 候補地および施設概要案

海釣り公園とは



安全

海上に栈橋、釣台などが構築され、
救命胴衣の貸出等もあり、
誰でも安全に釣りを楽しめる



自然

釣り堀と異なり、囲いに放された
養殖魚を釣るのではなく、
自然の釣り場である



手軽

駐車場、売店等が併設。
道具をレンタル・購入でき、
手ぶらでも気軽に楽しめる



海釣り公園事例①～本牧海釣り施設～

海釣り公園.comより画像参照



基本情報

収容人数	釣り客700人
年間来場者	約16,000人
釣り場総延長	1,400m
潮位差	1.8m

基本料金)

大人:900円／中学生:450円／
小学生:300円／小学生以下:無料

年間来場者数・・・本牧海釣り公園 釣果分析ブログ参照
<http://1-fish.com/cs/1/>

- **関東を代表する海釣り施設**
釣れる魚の多さと立地の便利さ、
家族で楽しめる環境づくりで、
1978年の開設以来、多くの来客数を誇る
- **イベント開催**
初心者、小中学生を対象とした
海釣り教室や夜釣り体験会
- **他施設との連携**
横浜フィッシングピアーズとして、
大黒海釣り施設、磯子海釣り施設と
3施設共通のポイントカードも設定
- **売店・食堂・休憩室を完備**

海釣り公園事例②～須磨・平磯海づり公園～

海釣り公園.comより画像参照



基本情報	須磨海づり公園
収容人数	釣り客700人
年間来場者	約80,000人
釣り場総延長	1,400m
基本料金) 4時間1,200円(小人700円)	

基本情報	平磯海づり公園
収容人数	釣り客550人
年間来場者	約70,000人
基本料金) 4時間1,200円(小人700円)	

- 日本初の公立の海釣り公園
- キッズクラブ制度
来場回数に応じてプレゼントがもらえる
- 釣りコン企画
釣りを楽しむ男女の出会いの場
- 情報発信
HP上で魚のさばき方やレシピ掲載
- アクティビティの連携
須磨浦山上公園が路線を挟んで向かいにあり、連携して海釣りとBBQをお得に楽しめるプランを計画
- 軽食堂、売店、自販機、トイレ完備

アンケート調査結果① ～施設の基本情報～

広島経済同友会 観光振興委員会 による調査結果より（※一部抜粋）

【調査対象者】 全国の海上釣り堀・海釣り公園事業者様(N=72)

◆釣り場形態と来場数等

釣り場形態		収容人数		年間来場者	
釣台	12	～100	7	5,000	4
栈橋	10	～200	4	10,000	2
海上釣り堀	10	～300	1	15,000	3
防波堤	7	～400	2	30,000	2
海上イケス	3	～500	2	50,000	1
筏(海・防波堤内)	3	～700	2	70,000	1
陸上釣り堀	1				
岸壁	1				
人工池	1				
仕立船	0				

海釣り公園は収容人数が多く、
釣り堀は小規模が多い。
年間来場が～15,000人規模が
最も多い(先の事例2件は大型)

◆料金と滞在時間

料金(円)	大人	女性 小人
無料		4
～500	8	14
～1000	7	1
～3000	5	3
～5000	4	3
それ以上	8	2

料金は
比較的安価
な設定が多く、
滞在は3時間
以上が多い
(平日でも長
時間滞在する
傾向あり)

平均滞在時間		
	平日	休日
2時間未満	4	4
2～3時間	2	1
3～4時間	6	9
4～5時間	6	4
5～6時間	2	1
6時間以上	6	5

※高額料金
があるのは
釣り堀等が
含まれる為

◆客層と属性

客層	男性	女性	来場者属性	
10代	5	5	家族ファミリー	23
20代	4	6	単独	21
30代	9	17	友人グループ	19
40代	15	16	男女カップル	7
50代	15	14	団体サークル等	5
60代	21	3	男2人組	2
70歳以上	6		修学旅行生	1

シニア中心で20代以下は少ない。
単独又はファミリーが多いが団体客は少ない

アンケート調査結果② ～施設の運営状況等～

17

◆設備・サービス関連

付帯施設(複数回答)	
トイレ	29
自動販売機	27
駐車場	25
管理棟	21
売店	16
身障者用トイレ	13
食堂	5
炊事場・調理設備	5
BBQ設備	4
バンガロー等	2
製氷機・冷凍庫・釣飼	1

運営上の重視項目(複数回答)	
釣場の環境整備	17
対象魚の豊富さ	8
各種サービス	4
安全	4
釣り関連以外の施設充実	3
利用料・駐車料無料	1
釣果の充実	1

提供サービス(複数回答)	
釣り道具レンタル	22
釣り指導	18
魚の調理	3
貸切	1
宅急便	1
託児	0

共通する部分が多く、**大差がない**。
重視する項目も、釣場の環境整備を重視、**釣り以外の充実意識は弱い**
↓
一方で人気の施設は**特徴あるサービス**が存在

◆他との連携など

地域の漁協との関係	
密接な関係にある	13
関係がややある程度	7
ほとんど関係はない	2
全く関係はない	5

漁協との密接度が高く、運営上重要

補助金の有無	
国	2
県	0
市町	3
その他	2
なし	18

各地の海釣り公園との連携への関心度	
大変関心がある	8
多少関心がある	10
関心はない	7
その他	3

◆運営状況など

運営母体	
漁協	6
市	3
企業	9
一般財団法人	4

運営は順調だが現実として利益は多くない**(集客や収益への意識が希薄?)**

運営状況		利益の状況	
大変順調	1	儲かっている	0
まあ順調	18	まあ儲かっている	7
あまり順調ではない	7	あまり儲かっていない	14
苦戦している	3	全然儲かっていない	5

事例、アンケートから見た成功要因

◆釣果、期待感

- ・・・魚影が濃い、年間を通じて多種多様な魚種が楽しめる

◆施設自体の充実度

- ・・・売店、トイレ、駐車場、軽食堂など快適に過ごすせる環境づくり

◆周辺施設の充実度

- ・・・釣りに限らずレジャースポットが周辺にある等、相乗効果が狙える

◆顧客満足を高める企画力

- ・・・教室などのイベント実施や、ポイントカードの導入など、サービスを充実させることでリピートにつながる魅力を付加。

1. 広島の観光事情

2. 海釣り公園の実態調査

3. 海釣り公園の期待効果

4. 候補地および施設概要案

レジャーとしての釣りのメリット

他のレジャーと比べても
優れている点が多い

- ①安価で1日遊べる
- ②新鮮な魚など“食料”が手に入る
- ③魚種も豊富で年間通じて楽しめる
- ④家族でも1人でも遊べる

コミュニケーション、 スキンシップの機会

親子で遊びを“学ぶ”！



親から子へ



祖父から孫へ

瀬戸内の風土に触れる機会

夏休みの思い出・・・

昆虫採集



釣り (池や川・海)



魚食文化の継承

釣った魚を捌いて食べる！

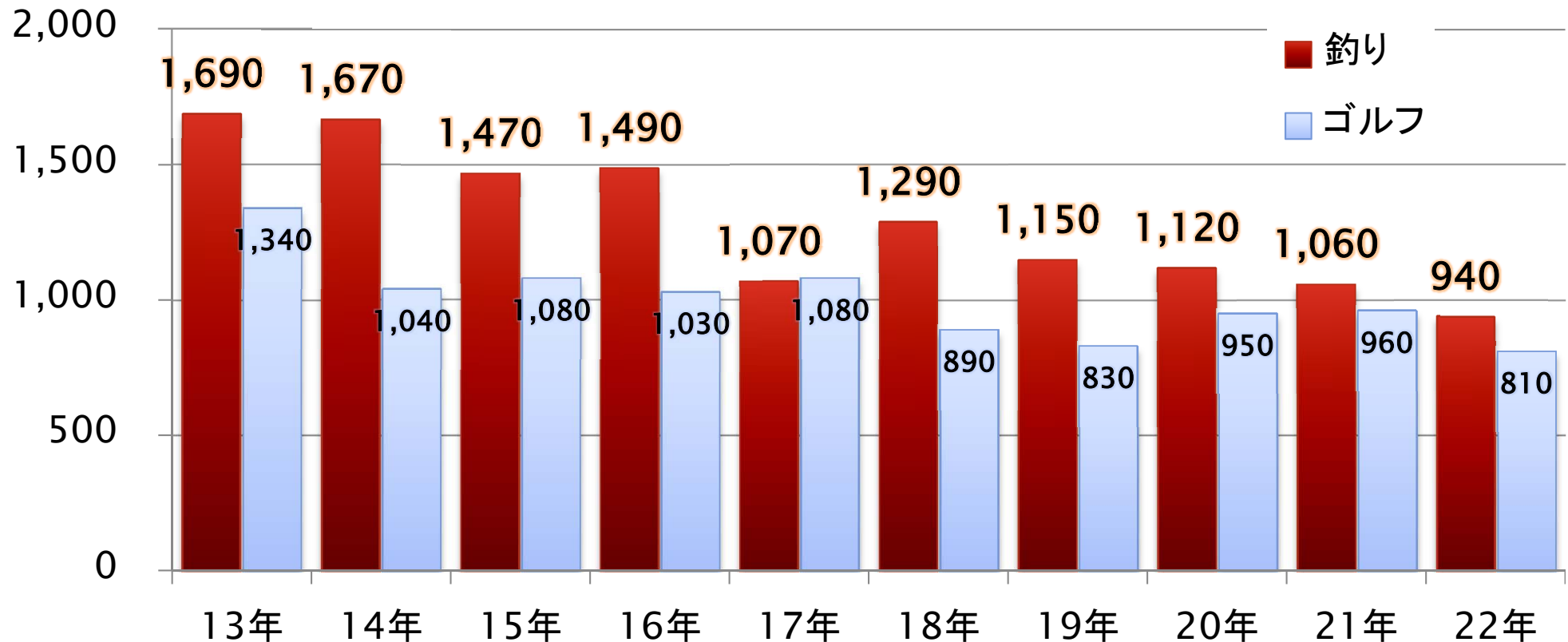


自然の豊かさ、美味しさ

釣りに関する基本データ ①釣り人口推移

全国の釣り人口推移(単位:万人)

参照:レジャー白書2011

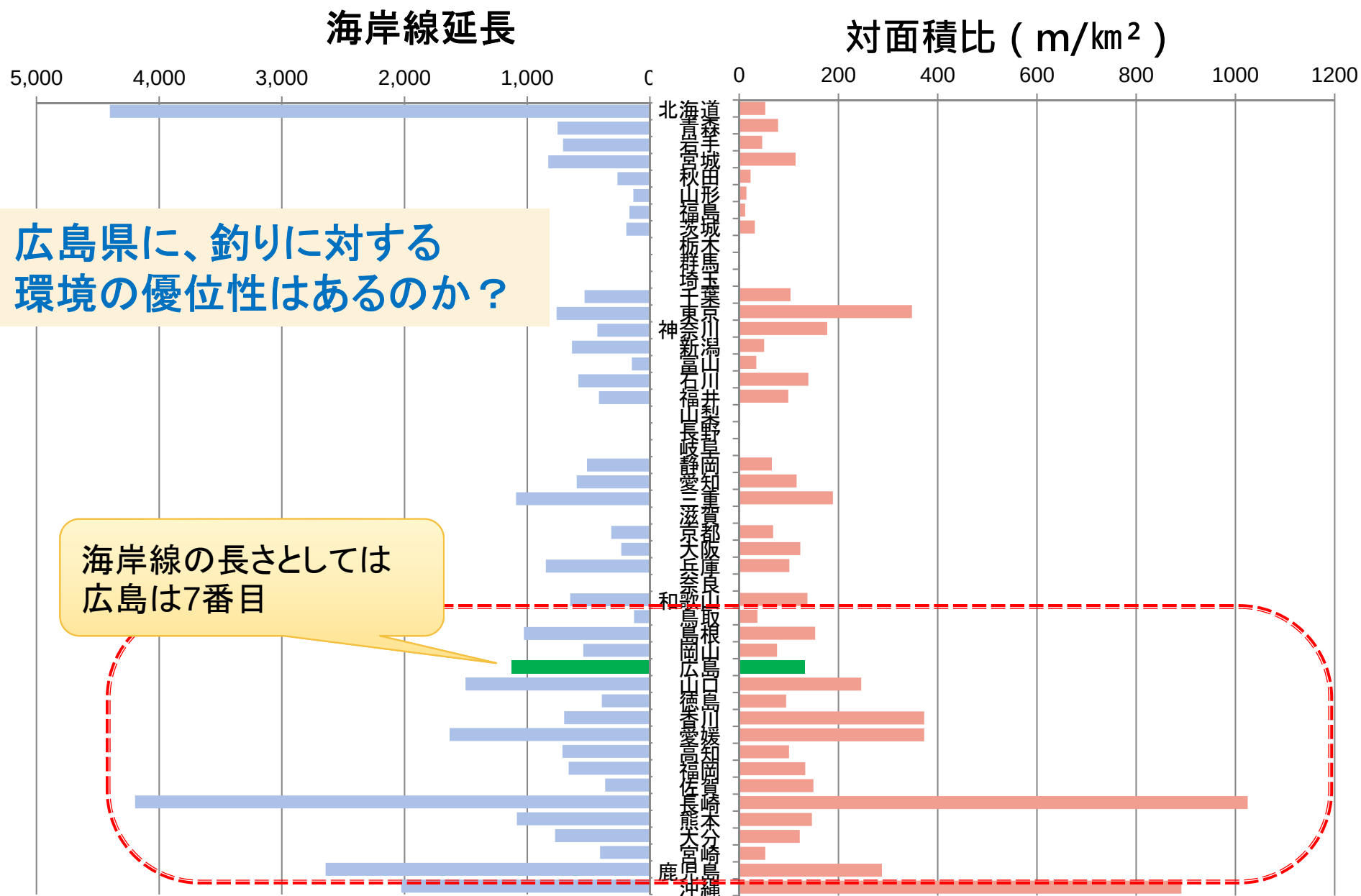


釣り人口は過去より減少したが、ゴルフ以上の市場が存在

減少の要因) 海岸線の釣り場の減少、少子化(若年層の釣り人口減)、
レジャーの多様化……

一方で“釣りガール”
と呼ばれる女性釣り人も
ブームに

釣りに関する基本データ ②県別海岸線



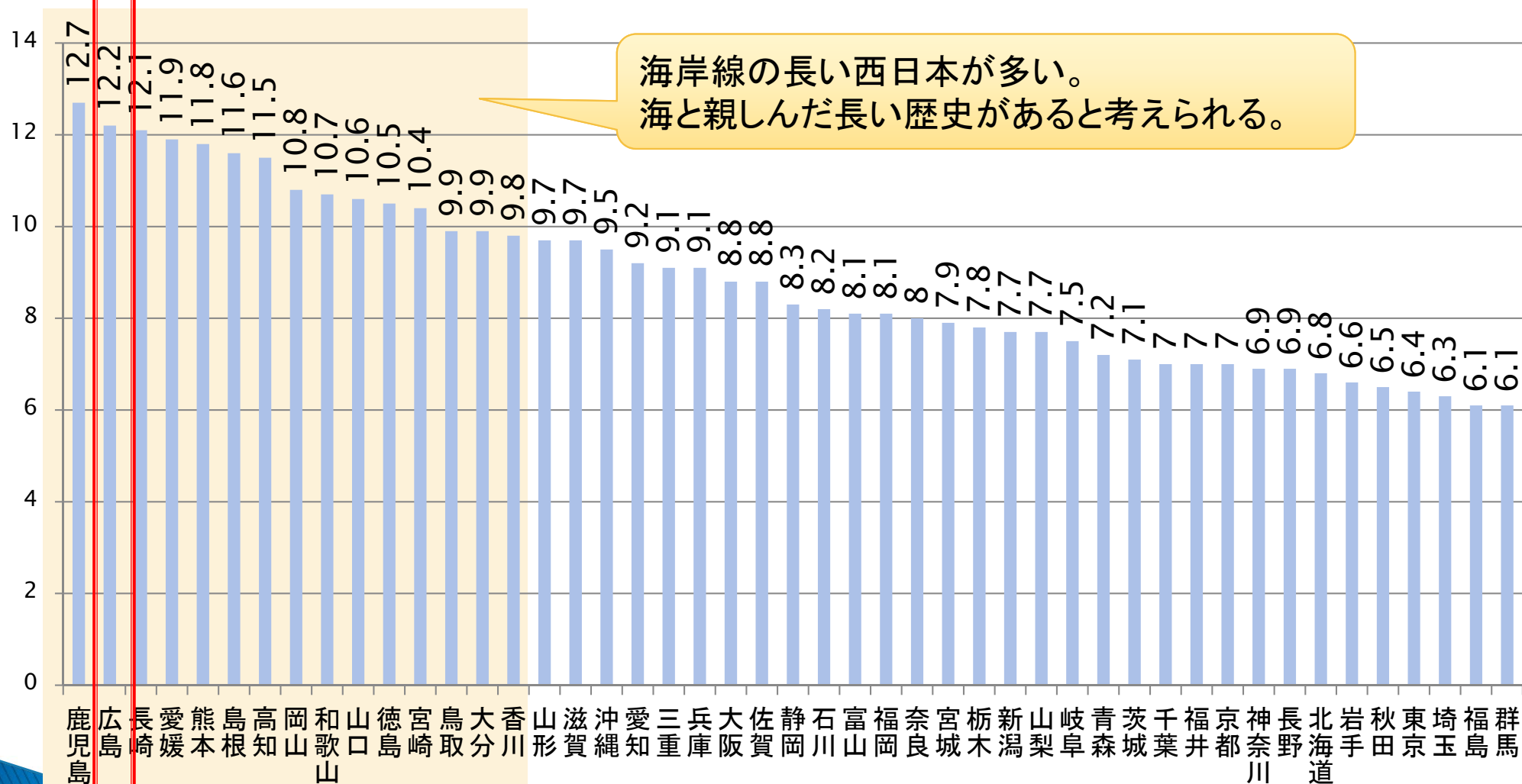
海岸線延長は2005年度版海岸統計により各省重複区間分を整理したもの。北方領土、尖閣列島を含む。

全国系は35,126km、対面積比は92.9/km²

※(社)全国漁港漁場協会「漁港漁場漁村ポケットブック2006」、総務省統計局「2005年国勢調査」

釣りに関する基本データ ③県別釣り人口比率

広島県の釣り人口比率は
全国で2位



釣り人口の比率(2011年)

(注)10歳以上の行動者率(過去1年間にその行動を行った人の比率)

※総務省統計局「社会生活基本調査」

全国の海上釣堀・海釣り公園

広島に存在するのは**釣堀**であり、
自然の中で天然魚を釣る
海釣り公園は存在していない

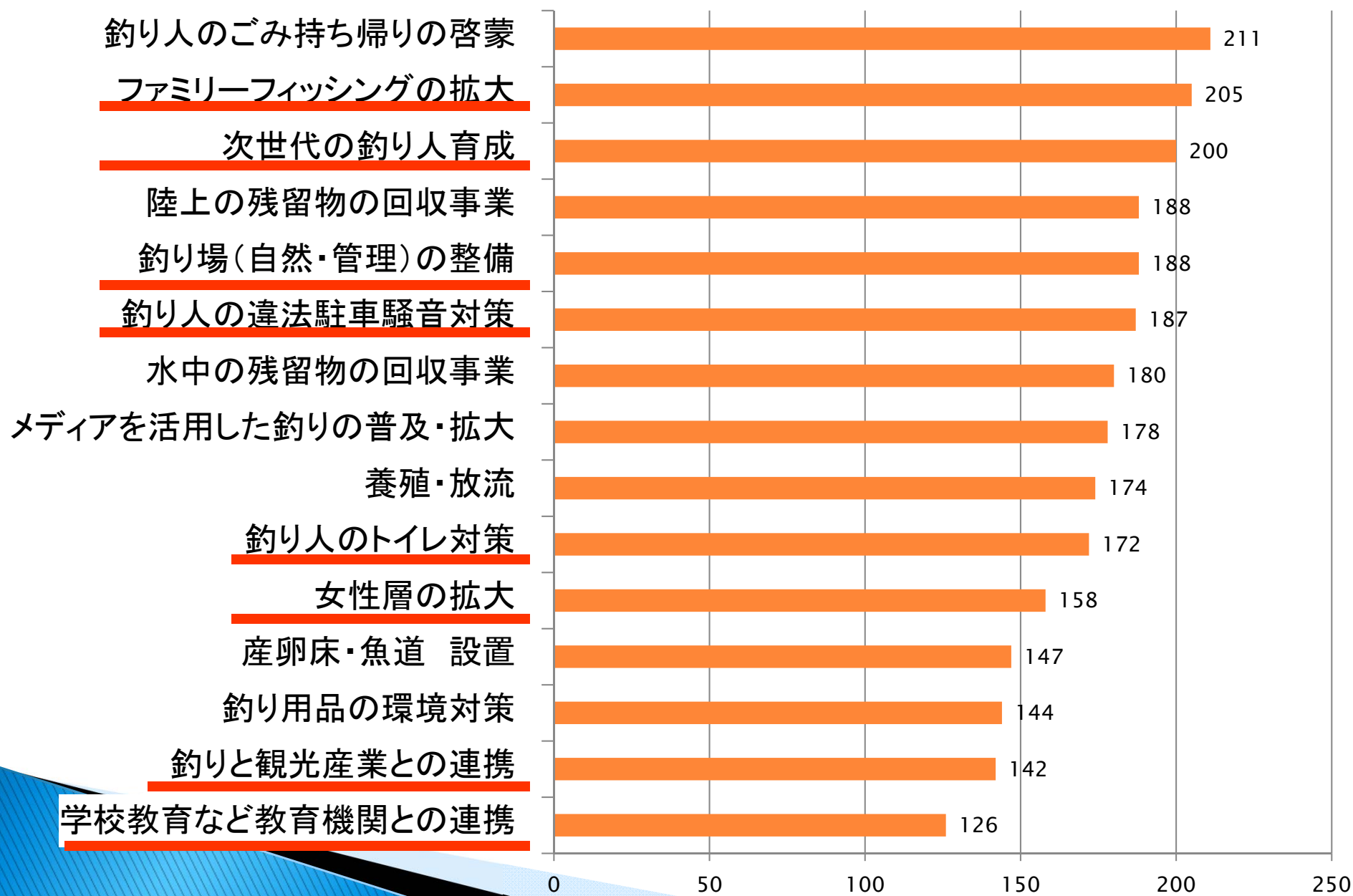
- ▼ 1～4施設
- ▼ 5～30施設



釣り文化の活性化への方向性

海釣り公園の建設が貢献する項目が多数

n = 228



海釣り公園に期待する効果～その1～

地元からの魅力発信力が醸成

県民の瀬戸内海に対する親水度向上



＜＜大人＞＞

- ・親子コミュニケーション
- ・自然の中でリフレッシュ
- ・男女、年齢問わず楽しめる



＜＜こども＞＞

- ・情操教育
- ・食育
- ・体験学習



＜＜お年寄り＞＞

- ・孫との遊び
- ・新たなコミュニティ

子ども～大人～お年寄り迄
誰でも・手軽に・安全に楽しめる

＜＜地域＞＞

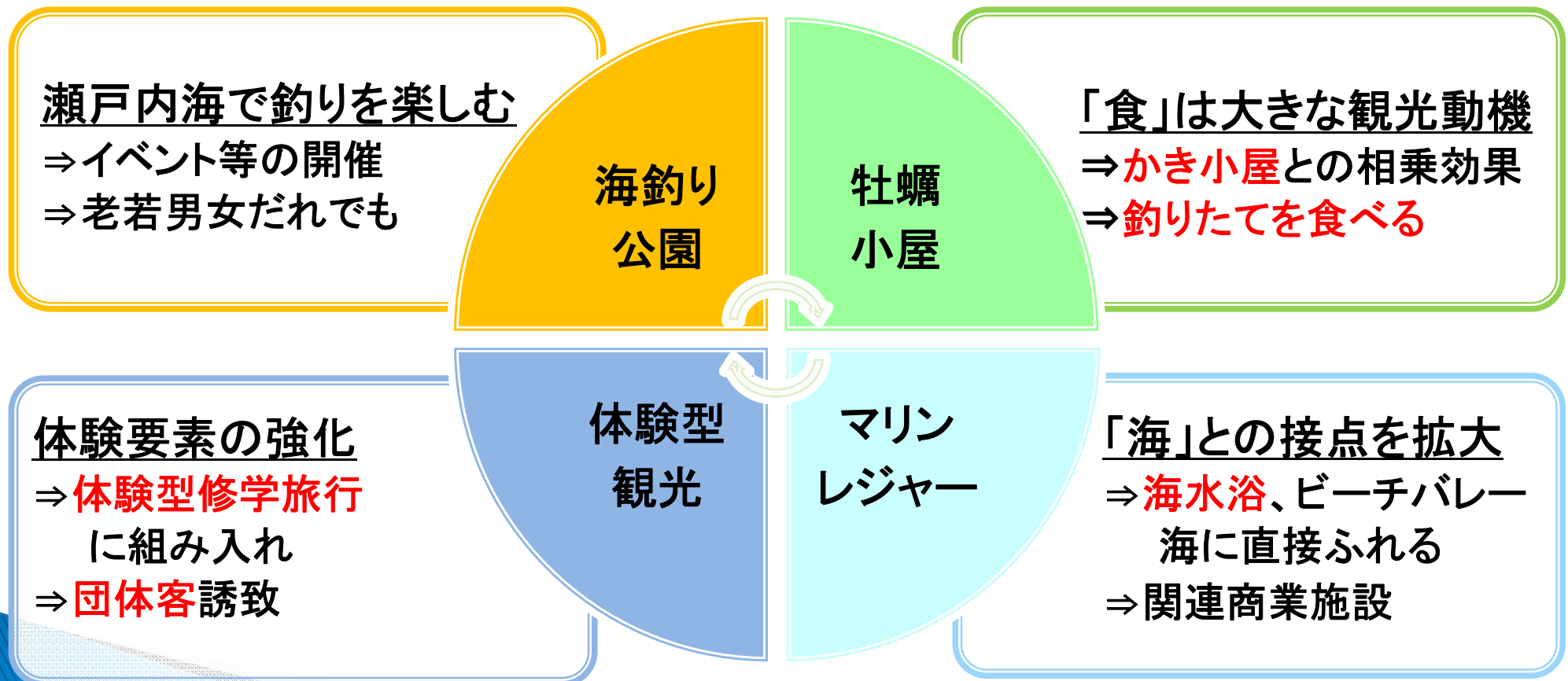
産業振興／にぎわい

釣り人口の拡大

海釣り公園に期待する効果～その2～

県外からの観光誘致に寄与

既存事業との連携による観光資源化



1. 広島の観光事情

2. 海釣り公園の実態調査

3. 海釣り公園の期待効果

4. 候補地および施設概要案

広島港湾振興事務所 地域整備計画



⇒4地区から検討し、坂地区の『**ベイサイドビーチ坂**』を候補に選定

候補地 ベイサイドビーチ坂の現状

人工海浜: 11.7ha 、延長: 1,200m

【施設】

管理棟: 2棟

更衣室: 2棟(うち1棟は女性専用)

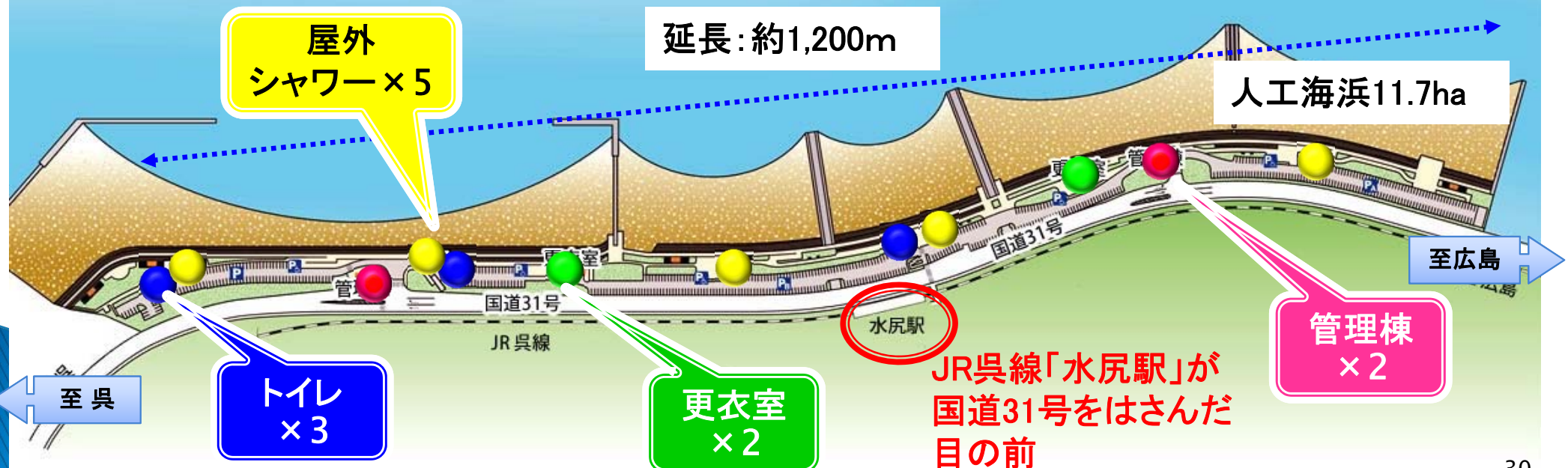
トイレ: 3棟(身障者用あり)

屋外シャワー: 5基

駐車場: 550台



画像参照: 広島県HPより



候補地 イメージ画像



車いすスロープ



整備された海浜



駐車場を全550台完備
JR駅もすぐ近く



更衣室棟



トイレ(身障者用もあり)



十分な水深

画像参照: 広島県HPより

([トップページ](#) > [広島港湾振興事務所](#) > ベイサイドビーチ坂・親水公園)

<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kouwan/park-park04-2.html>

候補地の優位性について

【立地】

- アクセスが良く観光ルートにも組み込みやすい
 - ・広島市中心部から車で約30分
 - ・広島呉道路 坂北ICから約5分
 - ・JR呉線『水尻駅』より徒歩約2分

【設備投資】

- シャワー、トイレ、更衣室、売店等が既存設備として存在し、インフラ整備が最小で抑えられる
- 駐車スペースが広く、団体誘致の為の大型バス駐車も可能
- 人工海浜が1,200m超あり、海水浴場の他、多様なアクティビティの設置も検討可能

⇒将来的な複合施設としての拡張を考えた際にも有利

候補地の優位性について

【漁業権】

- 広島県の海面には釣り漁業を対象とした漁業権が設定されており、同区域では漁業者が一定のルールに従い、生活の糧を得るため操業を行っており、勝手に釣りをすることはできない。

⇒ ベイサイドビーチ坂には漁業権が設定されていない。

港湾振興事務所も同施設の積極活用の意向があり、海釣り公園の開設にも前向きである。

※地域に根ざした県民に愛される施設とする為にも、地元住民の理解を得て合意形成しつつ、建設に向けて取り組みを進める必要がある

【その他】

- 同地区は水深があり、潮通しも良く格好の釣り場となる
 - 周辺では鰯など大型魚の釣果もあり、釣りの楽しさ、魅力が実感できる
- ※現状、国道31号沿いに駐車して釣りをする姿も見られており、道路交通の危険防止の観点からも意義があると考えられる。

施設名称(案)

【名称 案①】 *Saka-人a* フィッシングパーク

候補地である坂(Saka)、竿と釣糸を象形した(N)、魚を象形した(a)

【名称 案②】 坂の下の海 フィッシングパーク

坂と言えば・・・おなじく瀬戸内海に面した愛媛県の“坂の上の雲”

新規事業(案)①

【基本設備およびサービス】

➤ 桟橋形式の釣り場 を新設

⇒ 釣り場の各所に水場(水道)

- 管理センター
- 釣り用具のレンタルおよび仕掛けや餌等の消耗品販売

➤ 魚が“釣れる”為の環境整備

- ・ 人工漁礁の設置など、周辺の漁場を整備

漁礁

⇒ 魚類が好んで群集する水面下の岩場。

岩礁・洲・堆などの隆起した海底。

漁場として人工的にブロックなどを沈めて作るものもいう。

- ・ インストラクターの常駐
(地元漁協や釣り振興会と協力体制を構築する)

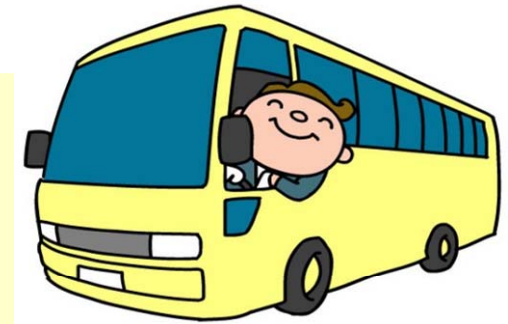


新規事業(案)②

【独自化設備およびサービス】

①団体客対応

- 大型観光バスの駐車スペースを確保
- 修学旅行、体験学習等に対応できる安全基準
(落下防止柵、救命胴衣他、緊急時設備、救護施設等)



②体験型観光

- 魚の捌き方、調理指導
(専用スペース設置)
⇒ 沢山の釣果があった方、鮮魚を持ち帰れない
遠方客の為には、干物やじゃこ天、つみれなどに
加工して発送する施設、仕組みも検討
- 地引網など特別感のある漁業イベント
- 魚のつかみ取り
- 製塩体験



休暇村HPから画像参照
<http://www.qkamura.or.jp/>



尾道市HPから画像参照

①+②により平日の稼働率を確保

新規事業(案)③

【独自化設備およびサービス】

③“食”の楽しみとの連動

- 牡蠣小屋やバーベキューデッキの併設
- 売店での軽食提供、シーフードレストラン等(瀬戸内の特産をメニュー化)
- 地元海産品(鮮魚含む)の直売市

牡蠣小屋HPから画像参照



④マリンレジャーとの連動

- 海水浴場との相互割引
- ビーチバレー・ビーチマラソン・ビーチセラピーなど既存イベントの盛り上げ
- タッチプールや親水スペース
- その他マリンレジャーのベースステーション



⑤その他

- コミュニティスペース(ベンチ&夏場の日よけ／冬場の風よけ)
- 釣り具販売と合わせて釣りミュージアム的な要素を取り入れる





体験イベント
など



牡蠣小屋、直売市、
バーベキューデッキなど



タッチプール、
親水スペースなど



埋立地

調理指導、釣り具ミュージアム（販売含む）



■大型観光バスの駐車場を確保



■ 新規設備

既存設備

 更衣室

 **管理棟**

● トイレ

● 屋外シャワー

◆ 駐車場550台

観光振興委員会活動履歴

- ・ 平成25年9月19日 観光振興委員会

卓話 テーマ「ニューツーリズムなどにみる近年の観光動向」

講師 公益社団法人日本観光振興協会 常務理事 丁野 朗 氏

- ・ 平成25年12月4日 正副委員会

全国海釣り公園の情報収集&アンケート草案

- ・ 平成26年1月31日 観光振興委員会

卓話 テーマ「海釣り公園～瀬戸内海の観光資源としての可能性～」

講師 株式会社だいすけプロダクション 代表取締役社長 岡田 大輔 氏

- ・ 平成26年2～3月 海釣り公園アンケート78施設実施 回収、集計

- ・ 平成26年6月13日 観光振興委員会

フィッシングパーク光 視察&実釣

- ・ 平成26年9月16日 正副委員会

卓話 テーマ「地域整備計画 ～広島みなとまちづくり～」 「広島港の公園緑地」

講師 広島県広島港湾振興事務所 次長 渡邊 聖 様

- ・ 平成26年10～11月 海釣り公園提言書 草案作成



—ご協力いただいた皆様—

- ◆ 公益社団法人日本観光振興協会
常務理事 丁野 朗 様
- ◆ 株式会社だいすけプロダクション
(TV番組 大ちゃんの釣りに行こう)
代表取締役社長 岡田 大輔 様
- ◆ ミリオンエコー出版株式会社
(月刊釣り画報、月刊ボートフィッシング)
代表取締役社長 木村 隆司 様
- ◆ かめや釣具株式会社
代表取締役社長 渡邊憲二 様
- ◆ 財団法人 日本釣振興会 中国地区支部